

茨木市立白川小学校 グランドデザイン

～学校教育目標～

家庭・地域とともに「自ら学び、たくましく生きる心豊かな子ども」を育成する

＜めざす子ども像＞

- 進んで学ぶ子
- 強い心と体の子
- 自分と友だちを大切にできる子
- 困難にも立ち向かえる子

＜めざす教師像＞

- 子どもの個性を活かし伸ばせる
- 子ども達に夢を持たせることが出来る
- 子ども達の可能性を引き出せる
- 子ども達と共に遊び学んでいく

＜めざす学校像＞

- 「学び」と「つながり」と「けじめ」
- ・当たり前のことが守られる集団
- ・ルールが守られ、落ち着いた学校
- ・けじめのある学校

【令和5年度スローガン（合言葉）】

～スマイル白川『楽しい学校 規律ある学校 愛される学校』～

「白川小学校グランドデザイン」に基づいた経営を着実に展開し、校長として以下の学校像の具現化を図り、児童も保護者も、地域も教職員も笑顔であふれる学校づくりをめざす。

【楽しい学校】

- 全ての児童が、主体的・対話的で深い学びをおして、学習したことが分かる楽しさ、自分の能力が伸びる喜びを実感できる「楽しい学校」
- 全教職員が、よりよい授業を追究することで、児童の分かる楽しさ、伸びる喜びを共有し、自身の喜びとすることができる「楽しい学校」

【規律ある学校】

- 全ての児童が、ルールやきまりは、学校生活をより豊かにするためにあることを理解し、自分たちで進んで守ろうとすることができる「規律ある学校」
- 全教職員が、児童の人権を尊重し、児童と共に育つという意識をもつとともに、教育公務員として信用を失墜する行為を行わず、法令を遵守することができる「規律ある学校」

【愛される学校】

- 児童一人ひとりの役割や居場所が学校にあり、自分に自信をもつことで、「白川小学校で学んでよかった」と心から思ってもらえる、児童に「愛される学校」
- 全教職員が、専門職として本来の業務に専念でき、やり甲斐と自信をもって学習活動を展開できる職場環境を整備することで、「白川小学校に勤務できてよかった」と心から思ってもらえる、教職員に「愛される学校」
- 職員とのきめ細かいコミュニケーションを基盤に、子どもが学校での出来事を楽しそうに話し、毎日、学校へ行くことを心待ちにしている姿を見ることで、「白川小学校に子どもを通わせてよかった」と心から言ってもらえる、保護者に「愛される学校」
- 地域への適切な情報公開・発信と、児童の気持ちのよい挨拶や行動、地域との交流活動などを行うことで、「白川小学校が地域にあってよかった」と心から言ってもらえる、地域の方々に「愛される学校」

具体的取組

【楽しい学校】

- ・全ての教員が、「学習内容、学習活動、学習評価」の3つの視点から、分かる・できる授業改善に努めること。
- ・茨木っ子プランネクスト5.0に沿い、的確な実態把握と分析に基づく具体性のある目標設定と取組の研究・実践を進める。
- ・全ての教科等において、「問題解決的な学習」を基本とした授業を展開し、児童の論理的・批判的な思考力の育成を図ること。
- ・全ての教員が、特別支援教育の視点を取り入れた誰にでも分かりやすい学習を目指し、ユニバーサルな授業づくりを追究すること。
- ・自分の思いを語り、一人ひとりのちがいを認め合い、つながり、共に高め合うことのできる集団づくりをすすめる。
- ・確かな児童理解に基づいた教材研究を進め、全ての児童が分かる楽しさと伸びる喜びを実感できる授業づくりに全力を注げるよう、教員が相互に授業技術を磨く風土を醸成し、教職の専門性が向上できるようにする。
- ・一人一台のタブレット端末を調べ学習のみならず、児童の意見をまとめ交流するツールとして有効に活用する。
- ・これからの社会を生きる力を育む、非認知能力の育成を進める。

【規律ある学校】

- ・全ての教員が、厳しい指導でも受け入れられる深い信頼関係を児童と築くため、授業時間はもとより、登下校時、休み時間、給食・掃除時間等、児童が学校にいる時間は、児童と共に過ごすようにすること。
- ・全ての児童が守るべき授業規律に関わる行動指針「東雲中校区スタンダード・白川小のきまり」の定着を図るとともに、家庭・地域へも理解を求め、より実効性を高めること。
- ・全ての教員が、「ダメなことはダメ」と毅然とした指導と、「なぜダメなのか」と考えさせる学習とのメリハリある対応を徹底すること。
- ・全ての教職員で、定期的な情報交換の機会を設定するなど、児童理解に関わる情報を共有し、担任一人で抱え込まず、一丸となって行動できる体制を確立すること。
- ・保護者、地域、関係機関等とて、連携を密にし、児童の問題行動などについて英知を結集した対応を推進すること。
- ・全ての教育活動において、児童が相互に力を合わせ、粘り強く行動し、目的を成し遂げる体験を積み重ねることで、児童の自己達成感・自己肯定感を育成すること。
- ・全ての教職員を対象に、日常的なコミュニケーションを図り、服務事故の未然防止と早期発見に努めるとともに、懲戒処分の事例を基に機会を捉えて校内研修を実施する。

【愛される学校】

- ・児童一人一人に学校の一員、地域の一員としての意識を高め、地域行事と連携をとり、学校・地域への愛情を深めること。
- ・全ての教職員が、学校生活の様子について児童の成長の様子や教職員の熱心に活動する姿など、「白川小学校らしさ」を積極的に家庭や地域に公開・発信すること。
- ・地域人材や、外部講師等の方々関わってもらえる機会を意図的に設定するよう努めるとともに、教材の開発を進め、活用を図ること。
- ・保護者と連携し、子どもに向き合い指導するために連絡を取り合い、良好な関係を保ちながら児童の指導を進めていく。
- ・全ての教職員の理解と協力のもと、会議の精選や効率的な業務分担など「学校における働き方改革」を着実に進め、専門職としての教員本来の業務に専念できる時間を確保することで、子どもと向き合う時間を増やし、教職員一人一人の意欲を引き出すこと。

【学校安全の推進】

- ・「自分の命は自分で守る」ための安全教育を計画的に推進するとともに、「子どもたちの命は私たちが守る」という教職員の危機管理意識を高めることで、安全教育と安全管理が連携した学校安全を組織的に展開し、安全・安心な学校の実現を図ること。
- ・安全教育の充実を図るとともに、児童の安全を最優先に考え、通学路の安全確認や学習活動の安全管理の徹底、避難訓練などを確実に実施すること。
- ・学習活動による様々な安全リスクを想定した指導計画を立てるとともに、緊急時における教職員の連絡体制の周知徹底を図ること。
- ・食物アレルギーやケガ対応など、家庭や関係機関との綿密な連携を図ること。特に首から上のケガは管理職を含め複数で対応すること。
- ・いじめは、どの学校、学級でも起こり得ることであるとの認識のもと、いじめ防止基本方針に則り、教職員間の情報の共有化を図ることにより、いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応を徹底すること。いじめ0ではなく、見逃し0の取組をすすめる。